

自殺企図の再企図予防に向けた臨床指標の解明

研究協力をお願い

この研究は、日本医科大学中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間昭彦）の許可のもと、倫理指針および関係法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2020 年 1 月 1 日から 2027 年 10 月 31 日までに、日本医科大学多摩永山病院精神神経科救急外来に自殺企図により搬送された患者さん、および先行研究（「精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究」（承認番号 B2022-105））に参加された患者さん。

2. 研究の目的

この研究の目的は、救急搬送された自殺企図患者さんについて、再自殺企図につながり得る臨床的特徴や心理検査・神経画像などの情報を後方視的に解析し、再企図予防に資するリスク因子や候補となる指標を明らかにすることです。これにより、将来の自殺再企図防止のための臨床的指標や支援体制の改善につなげることを目指します。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学多摩永山病院 精神神経科で実施する単機関研究です。研究責任者および研究事務局は精神神経科 肥田道彦です。

2020 年 1 月 1 日から 2027 年 10 月 31 日までに、日本医科大学多摩永山病院精神神経科の救急外来に自殺企図で搬送された患者さんの診療記録（搬送経路、診断、心理検査や画像検査の結果など）とともに、先行研究「精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究」（承認番号 B2022-105）で得られた fMRI 所見などを用いて、自殺企図患者の臨床的特徴と神経画像所見との関連を多角的に解析します。

研究実施期間は、実施許可日から 2027 年 10 月 31 日までです。

この研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、搬送経路、バイタルサイン、身体所見、診断、既往歴、罹病期間、心理検査結果、入院の有無、fMRI 所見など

利用を開始する予定日：実施許可日

試料・情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程および先行研究「精神疾患データベースの構築・利

作成日 : 2025 年 9 月 18 日

活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究」(承認番号 B2022-105) で取得

この研究に関する情報は、個人が容易に特定されないよう記号化した番号により管理されます。情報は施設可能な精神神経科部長室内に設置された、インターネットに接続されていないパスワード保護されたパーソナルコンピュータに保管されます。患者さんの個人情報、個人が特定できる形で使用されることはありません。

また、患者さんから、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。なお、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

この研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、情報が研究に用いられることについて、患者さんまたは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

日本医科大学多摩永山病院 精神神経科 肥田道彦

〒206-8512 東京都多摩市永山 1-7-1

電話番号 : 042-371-2111 (代表) 内線 : 3091

メールアドレス : mkoeda@nms.ac.jp